

# 「鹿児島商業高等学校のせばる隼人舞伝承活動の取組」

## 1 学校名

鹿児島商業高等学校

## 2 学年・人数

3年生6名・2年生2名 計8名（生徒会役員及び有志）

## 3 日時・場所

### （1）練習の日時・場所

令和元年10月17日（木）・18日（金）・21日（月）・25日（金）・  
11月21日（木） 16時30分～18時（坂元台公民館）

### （2）発表の日時・場所

令和元年10月26日（土）「鹿児島商業高等学校第70回文化祭」  
（本校体育館）  
令和元年11月23日（土）「せばる隼人舞祭り」（坂元台小学校体育館）

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

### （1）名称

せばる隼人舞（せばるはやとまい）

### （2）由来

隼人舞は、古事記や日本書紀に記載されている海幸・山幸の神話に由来する神楽で、約1500年前に隼人族が坂元町で舞ったとされている。途絶えていた舞を7年ほどかけて資料集め等をして平成4年に復元し、以降11月の「せばる隼人舞祭り」等で奉納し、現在に至っている。

### （3）構成等

せばる隼人舞は、「神招（かみおぎ）の舞」、「弓の舞」、「松明（たいまつ）の舞」、「猿女（さるめ）の舞」、「杵（きね）の舞」、「十二剣舞（じゅうにけんまい）」、「せばる隼人舞」、「序（じょ）の舞」の8演目から構成され、本校生徒は「弓の舞」を担当している。また、坂元台小学校、坂元中学校、鹿児島東高等学校の各学校の児童生徒も他の舞を担当している。

## 5 保存会や地域との連携の具体

「せばる隼人舞保存会」は、会長以下、校区の住民を中心に組織されており、舞を担当する各学校の校長等が運営委員として参加している。毎年11月に開催されている「せばる隼人舞祭り」での奉納を最終目標とし、本校の文化祭でも披露している。毎年生徒会役員を中心に舞手を募り、本年度は8名が参加した。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

毎年保存会の舞の指導者が、坂元台公民館で指導してくださる。毎年参加し

ている生徒もおり、初めて参加する生徒に基本的な動きや太鼓のたたき方等を指導するなど、「せばる隼人舞」の伝承に寄与している。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



文化祭



せばる隼人舞祭り

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【生徒】

今まで伝統的なことへの関心はあまりなかったが、今回せばる隼人舞祭りに参加して、地域の方々と関わることができ、伝統的なことへ興味がわいてきた。昔から伝わる文化に触れることができ、貴重な経験となった。

### 【生徒】

今回初めてせばる隼人舞に参加して、地域全体で活動していて、昔からの伝統を守っていることに驚いた。短い時間ではあったが、みんな全力で練習をし、本番で良い舞ができてよかった。来年も機会があれば是非参加したい。

### 【保存会】

毎年参加してくれ、保存会としては大変感謝している。是非来年も引き続き、参加してほしい。

### 【教職員】

地域の方々が大切に守ってこられたこの伝統芸能を披露するという貴重な機会をいただいたことに、感謝の気持ちでいっぱいである。また、ご指導のお陰で、生徒が練習から本番まで熱心に取り組んでくれ、無事大役を果たせてほっとしている。この経験を、是非今後の学校生活に活かしてほしい。